

普及活動情勢報告（平成26年8月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

輝く将来像の実現に向けて（生姜生産組合青年部）



ショウガを取り巻く情勢の分析

生姜生産組合青年部は、平成18年に発足し課題解決のための活動をしてきました。7月24日には中長期的な視点も持った今後の活動方針を検討するため、青年部員11名でまず「ショウガや部会を取り巻く現状」の意見を出し合いました。

普及所は出席者からの意見の引き出しや集約等、会議の進行に協力しました。栽培や販売面、組織活動等に関する多くの意見を、強みや弱み等に分類して整理することで、より深く現状把握・分析を行うことができました。

今後普及所は、青年部が今回の現状分析結果に基づき具体的な取り組みを実施していくように、誘導と支援を継続します。

オクラの乾燥粉末は商品化できる？ 試作品の食味会



オクラ乾燥粉末を食味する関係者

鏡村直販店組合では、直販所の機能強化に取り組んでおり、ショウガやオクラの乾燥粉末の商品化を検討しています。土佐山・鏡地区の学校給食との打合せ会の中で「オクラの粉末あれば、利用できるかも」の意見があり、今年度の活動計画に位置づけました。

普及所で「ブランシング（ゆでる）の有無」や「種とサヤに分けて粉砕」等、いくつかの区に分けて試作しました。そして、7月29日のチーム会で組合役員や関係機関とともに食味し、色や香り・粘り・風味等を評価しました。

今後は、評価の良かった乾燥手順で、再度まとまった分量を試作し、給食関係者に試験的に活用してもらう予定です。

集落営農を考えよう 集落営農研修会



高知市では市とJA、普及所などの高知市担い手育成総合支援協議会の構成員で連携し、集落営農の取り組みを推進しています。

7月30日に高知市中山間地域構造改善センターにおいて、高知市土佐山・鏡地区で集落営農の取り組みが未実施の集落の代表者等を対象に、集落営農研修会を開催しました。

研修会には17名が参加し、普及所は、集落営農の目的や先進地の事例紹介、話し合いの進め方等について説明しました。参加者からは共同利用機械の管理方法の質問や、個々に経営ができていますので今のところ必要がない等の意見もありましたが、研修を通じて集落営農について理解を深めてもらうことができました。

普及所では今後、地域での話し合い等を支援し、集落営農の取り組みを推進していきます。